

# 令和2年度「にかほ市テイクアウト等消費還元事業」実績

## 1. 事業概要等

別紙資料1のとおり

## 2. 効果検証

商品券還元総額 32,804,000円(2,000円×16,402件)

うち利用実績額 32,362,000円(発行額の98.6%)

→ポイントが付与される商品購入額は、商品券還元額の2倍となるので、少なくとも

65,608,000円が市内飲食店等で消費され、商品券還元額と合わせると

97,970,000円以上が市内で環流した。

実施期間を令和2年8月末まで・還元総額30,000,000円としてスタートしたが、好評により1カ月早く還元総額に達する見込となったため、7月26日に終了した。(最終日までの申込であれば30,000,000円を超えても還元対象とした。)

参加事業者にはアンケート回答を依頼し、対象者数89件のうち58件(65%)の回答を得た。本事業の参加を機にテイクアウトのメニューを増やした事業者が約3割で、テイクアウト商品の売上増になった業者は約7割であった。コロナ禍で想定される損失の補填ができたという事業者は約5割にとどまったが、同様の事業が今後行われる場合に参加したいと答えた業者は8割以上となり、好評を得ることができた。自由記述欄では「売上が確保できた」「新規の顧客が増えた」「お客さんが喜んでいた」等、好意的な意見が約7割に上った。

(アンケート結果:別紙資料2のとおり)

上記のとおり、早期終了・還元予定額を上回る申込があったこと、参加事業者より好評を得たことから、事業者支援・市民生活支援という目的については、達成できたと考える。一方、参加事業者の作業や、ポイント対象の基準等で改善すべき点があり、今後同様の事業を実施する際は課題をクリアして臨み、より多くの事業者・市民に参加いただくよう取り組むこととする。

## 資料1

# 「にかほ市テイクアウト等消費還元事業」について

(おうち de レストラン～食べて応援プロジェクト～)

## 1 趣旨

飲食店等においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで経験したことのない売上げの減少と事業存続の危機を迎えている。これに対応して、テイクアウト等実施店を経営する事業者との協働により市内に食による経済循環を創り上げ、飲食店等の収入の確保と本市経済の安定、および市民生活への支援と消費の喚起を図ることを目的として、次の支援事業を実施する。

## 2 事業概要

消費者がテイクアウト等実施店（参加申請店）で弁当や惣菜等を購入する都度、購入金額に応じポイント（スタンプ方式）を付与する。そのポイントを貯めて市に申請することにより、にかほ市商工会の商品券を還元する。

## 3 還元対象者 にかほ市民（※にかほ市民のみ申請可能）

## 4 還元率 概ね50%

200円ごとに1スタンプ押印（例：500円の弁当のテイクアウトでスタンプ2個）  
スタンプ台紙にスタンプが20個貯まると、2,000円分の商品券と交換

## 5 事業効果

- ① 商品券による還元の実施により消費者等の購買意欲が増進され、事業存続の危機を迎える飲食店等の早急な売上確保につなげることができる。
- ② 消費者は、テイクアウトや出前により食を楽しむことにより、外出自粛による生活上の不便を緩和することができるほか、商品券による還元を受けることができる。
- ③ 還元されたにかほ市商工会商品券を利用することにより、飲食店以外の業種への経済波及効果が期待できる。

## 6 事業期間

令和2年5月15日（金）から 令和2年8月31日（月）まで

※ただし、還元分商品券がなくなり次第終了

※還元分商品券の残りの状況については、ホームページ等で適宜お知らせする

## 7 予算額

事業費 36,537千円（事務費 6,537千円、還元分商品券 30,000千円）

## 8 問い合わせ

にかほ市役所 商工政策課 TEL0184-43-7600

## テイクアウト等消費還元事業 参加事業者アンケート結果

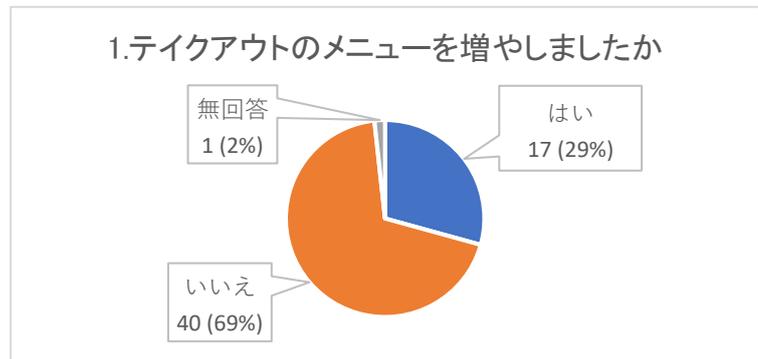
回答数：58件

1.本事業に参加するにあたり、テイクアウトの新しいメニューを増やしましたか。

はい	17
いいえ	40
無回答	1

(はいの場合) メニューの増加数

1～5品	13 (76%)
6～10品	2 (12%)
11品以上	2 (12%)

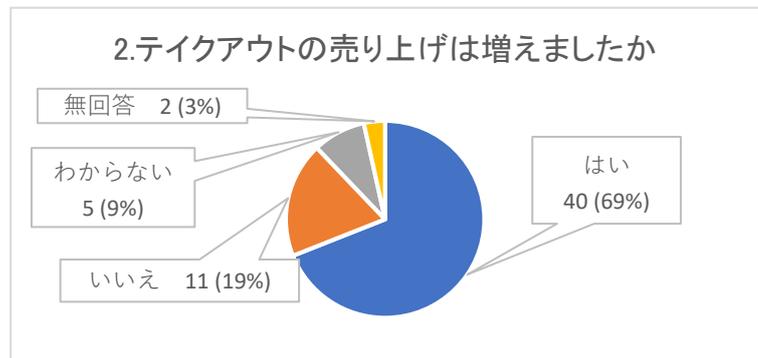


2.本事業に参加した結果、5月～7月分のテイクアウトの売り上げは増加しましたか。

はい	40
いいえ	11
わからない	5
無回答	2

(はいの場合) 売上の増加率

1～50%	18 (45%)
51～100%	6 (15%)
100%超	2 (5%)
未記入	14 (35%)

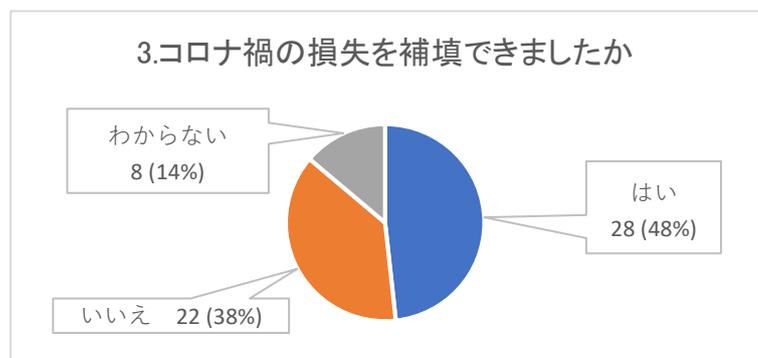


3.本事業に参加した結果、5月～7月における新型コロナ禍の影響で見込まれる損失を補填できましたか。

はい	28
いいえ	22
わからない	8
無回答	0

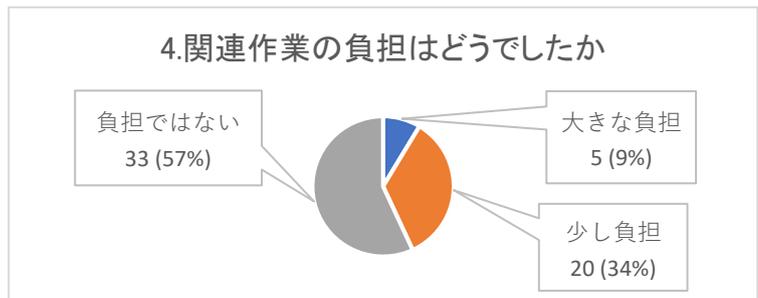
(はいの場合) 損失の補填率

1～50%	16 (57%)
51～100%	4 (14%)
100%超	0
未記入	8 (29%)



4. スタンプ押印等、関連作業の負担はどうでしたか。

大きな負担	5
少し負担	20
負担ではない	33
無回答	0



5. 今後、同様の事業を実施する場合、参加されますか。

参加したい	50
参加したくない	2
わからない	6
無回答	0

